

日持ち性向上生産管理チェックシート ～トルコギキョウ版～ (令和4年3月作成)

- ◆日持ち性向上のために、生産から出荷まで注意すべきポイントをまとめたチェックシートです。
- ◆各チェックポイントごとに管理技術の基準を設定しており、この基準を一つ一つ確認し、実践することが日持ち性向上につながります。

項目	チェックポイント	基準	判定
栽培管理	1 ほ場衛生	除草・清掃をする	
	2 かん水・肥培管理	適切にかん水・施肥を行う	
	3 温度管理	高温を避け、適切に管理する(日中25℃目安)	
	4 換気	適切に換気し、湿度を下げる	
	5 光環境	被覆資材の更新、洗浄で十分な光量を確保する	
	6 芽と枝の整理	不要な芽と枝を整理する	
採花	7 採花時間	早朝の気温の低い時間に採花する	
	8 前処理までの保管	速やかに前処理を開始する	
前処理	9 前処理マニュアル	前処理マニュアルを作成し、遵守する	
	10 前処理場所	7℃以上の冷蔵庫または冷暗所で行う	
	11 前処理剤	適切な前処理剤を使用する	
	12 前処理剤の交換	毎回必要量を調整する(一部の抗菌剤を除く)	
	13 前処理液の吸収量チェック	季節ごとに吸収量を調査する	
14 容器の洗浄	容器は前処理剤の交換ごとに、 <u>ブラシ・スポンジ等を用いてしっかり洗浄する</u>		
冷蔵庫	15 冷蔵庫の殺菌	定期的に清掃し、殺菌剤での水拭きを行う	
作業場・選花場	16 清掃	清掃を行い、清潔にする	
	17 室温	25℃以下でできるだけ低くする	
ハサミ	18 定期的な洗浄	ハサミは除菌できる洗剤で洗う	
	19 温度	5～10℃の冷蔵庫内又は冷暗所で保管する	
出荷までの保管	20 採花から出荷までの時間	3日以内(低温で保管できない場合には24時間以内)とする	
	21 直射日光・雨・温度	直射日光や雨に当てないで輸送する(1時間を超える場合は15℃以下)	
採花日等履歴	22 採花日・出荷日の記録	採花日・出荷日を記録する	

※チェックポイントの基準に適合している項目には、判定の欄に「○」を記入。「○」の数が20個以上を目標とする。

令和4年3月
青森県農林水産部農産園芸課

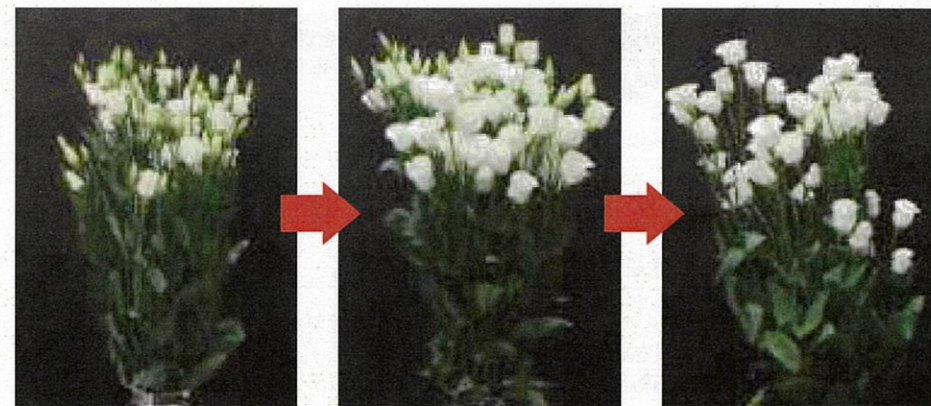
トルコギキョウの日持ち性向上に向けた 生産管理のポイント

はじめに

- 本県の主要な花き品目である「トルコギキョウ」においては、消費者が望む「日持ちが良い花」の生産が重要です。
- 本県の強みである「夏秋期の生産」を強化するため、裏面の「生産管理チェックシート」を活用して、日持ち性向上に努めましょう。

チェックシートの試行・運用の実施結果 (令和3年度調査結果)

チェックシートを使って管理したほ場では、日持ち日数は最長で「約16日」でした。



0日目

8日目

16日目

※実証結果(令和3年度(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所)
品種:ソロホワイト、採花日:7月26日、前処理:クリザールK-20C(1,000倍)で処理
水道水を1日おきに交換し、しおれた花を除去して、切り戻しても、しおれが回復しなくなる
時期まで観察(室温25℃・湿度60%)

前処理容器は本当にきれいになっていますか？

今年度の調査ほ場では、チェックシート上では適切に管理されているにもかかわらず、容器が細菌に汚染されているという現状が確認されました。

1 細菌汚染について

7月下旬～8月中旬採花のトルコギキョウ「ソロホワイト」4サンプルの日持ちを調査したところ、チェックシートの「○」の数は平均18個で、日持ち日数は約7～16日と幅があり、日持ち日数が短いサンプルほど、前処理容器の内面の細菌汚染が多いことが確認されました。

前処理の衛生に関するチェックポイントの実践状況と容器内面の細菌汚染の程度(RLU値)は以下のとおりで、農家Cでは細菌汚染度123,919と高く、日持ち日数は7日でした。

チェックポイント	農家A	農家B	農家C	農家D
12 前処理剤の交換	○	○	○	○
14 容器の洗浄	○	○	○	○
容器内面のRLU値*	78,128	36	123,919	53

※ルミテスターによる測定

容器表面や前処理液で繁殖した細菌は、切り花の導管を詰まらせ、日持ちを悪化させます。
 ※今回、農家Cでは、前処理剤を使用しているものの、容器の汚染により日持ちが悪化したと考えられます。
 このため、容器をブラシ・スポンジ等でしっかり洗浄することがポイントとなります。

2 ルミテスターについて



ルミテスターと専用の綿棒 綿棒でぬぐいとり 本体へ挿入して計測

綿棒で容器内面をぬぐいとり、本体に挿入するだけで、細菌汚染の程度がRLU値として表示されます。

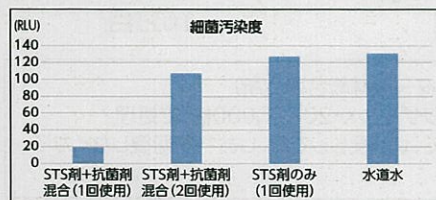
※RLU値: 1,000以下だと清潔

適切に管理しているつもりでも、前処理容器は細菌汚染されているかもしれません。

3 抗菌剤による前処理液の汚染軽減対策について

抗菌剤である「クリザールブスター」を、老化を抑制する前処理剤であるSTS剤(エチレン作用阻害剤)に混用することで、細菌汚染を抑制できます。

また、日持ちを維持しつつ、前処理液の2回反復使用も可能になります。



(令和2年度の実証結果より)

日持ち低下症状の主な要因と日持ち性向上のための対策

管理項目	症状	主な要因	対策
栽培管理	病害虫の被害 軟弱徒長	<ul style="list-style-type: none"> 病害虫の確認遅れ、防除の遅れ ほ場周辺の雑草防除不足等(害虫侵入) かん水、施肥の過不足 室温や湿度の上昇 	<ul style="list-style-type: none"> 適期防除の徹底 ほ場周辺の除草・清掃 適切なかん水、施肥 換気による温湿度管理
採花	花や茎のしおれ 水揚げしにくい	<ul style="list-style-type: none"> 高温時の採花による切り花の温度上昇、水下がりがり 	<ul style="list-style-type: none"> 早朝の気温の低い時間に採花
器具の衛生管理	花や茎葉のしおれ	<ul style="list-style-type: none"> 細菌汚染による導管の詰まり 	<ul style="list-style-type: none"> バケツはブラシ・スポンジ等を用いて、しっかりと洗浄 ハサミは除菌できる洗剤で洗浄
前処理と出荷	落花・花のしおれ	<ul style="list-style-type: none"> エチレンによる老化加速、細菌繁殖 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な前処理剤の選択と処理(清潔な水の使用) 出荷までは滞留時間を短く、冷所での保管 履歴の記録



適切なかん水・温湿度管理

早朝の気温の低い時間に採花

適切な前処理

冷暗所で保管し出荷



ハサミやバケツの洗浄

しおれの原因は？
バケツ？ハサミ？
前処理剤？水？

バケツの汚れには、特に注意！

